

令和元年度職員研修計画概要

【Ⅱ 課題別・テーマ別研修】

研修名	障がい専門研修（現地指導・報告会）
時期・会場	現地指導 8月～9月（三風園各施設） 全体報告会 1月
日程	各施設年1回、全体報告会1回
目的	利用者に対し質の高い支援を実施し、利用者の生活の質を向上することができる。支援員として、常に利用者主体を意識し、多様な支援方法を検討・実践・評価・改善できる。
対象	三風園のサービス管理責任者・支援員
内容	実践場面における支援内容へのアドバイス アドバイス後の実践内容の振り返りと評価 全体報告会による実践の共有
講師	島根大学人間科学部人間科学学科 准教授 京 俊輔 氏

研修名	権利擁護研修（施設巡回研修）
時期・会場	5月～2月・各施設
日程	各施設年1回
目的	権利擁護の視点から、適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。
対象	各施設全職員
内容	① 権利擁護の基本的知識 ② 権利侵害行為としての高齢者虐待と身体拘束
講師	人材育成室スタッフ

研修名	介護職員基礎研修【認知症】（施設巡回研修）
時期・会場	5月～2月・三風園
日程	各施設年1回
目的	認知症に関する基礎的な知識を習得し、介護場面で知識に基づき適切な支援を行うことができる。
対象	準職員、非常勤職員
内容	① 認知症の定義と原因疾患別の特徴 ② 中核症状と行動・心理症状に関する基礎知識と支援の基本
講師	人材育成室スタッフ

研 修 名	介護職員基礎研修【介護技術】（施設巡回研修）
時期・会場	5月～2月・三風園
日 程	各施設年1回
目 的	利用者に対して介護を提供するうえで必要となる基本的な介護技術を習得する。
対 象	準職員、非常勤職員
内 容	① 介護姿勢の基本 ② 介護動作の基本（実技）
講 師	人材育成室スタッフ

研 修 名	24H シート実践研修（施設巡回研修）
時期・会場	5月～2月・特養各施設
日 程	特養各施設年1回
目 的	個別ケア実践のために作られたツールである 24 時間シートについての実践的理解を深める。
対 象	グループマネージャー、介護員
内 容	基本研修で学んだ記入のポイントに沿って 24H シートが作成されているか確認し、作成のポイントについて職員間の共有を図る。
講 師	人材育成室スタッフ

研 修 名	リーダーシップ研修【基礎編】
時期・会場	5月（同じ内容を同月に2回実施）・出雲市、浜田市
日 程	1日間
目 的	チームリーダーとしての基本姿勢や適切なコミュニケーション技術、チームリーダーに求められる OJT の推進方法の習得
対 象	ユニットリーダー、チーフ等
内 容	① チームリーダーとしての心構え ② 意図的 OJT
講 師	人材育成室スタッフ

研 修 名	リーダーシップ研修【実践編】
時期・会場	8月（同じ内容を同月に2回実施）・出雲市、浜田市
日 程	1日間
目 的	チームを構築し、活性化するための具体的な方法を理解し、それらの

	手法を用いたチーム活性化や運用方法を理解する。
対 象	ユニットリーダー、チーフ等
内 容	自らのリーダーシップに関する評価と課題整理
講 師	人材育成室スタッフ

研 修 名	マネジメント実践研修（施設巡回研修）
時期・会場	5月～2月・各施設
日 程	随時
目 的	管理・指導的立場にある職員の組織・業務マネジメント力の向上を図る。
対 象	自立・生活支援課長、グループマネージャー、サービス管理責任者
内 容	管理・指導的職員が抱えている課題等について、人材育成室スタッフが客観的に現状把握と分析を行い、改善・解決案を示し、共に課題解決を行う。
講 師	人材育成室スタッフ

研 修 名	理念浸透研修（施設巡回研修）
時期・会場	5月～2月・各施設
日 程	各施設年1回
目 的	事業団の経営理念、施設の介護理念を理解し、理念に沿った実践ができる。
対 象	正規職員、準職員、非常勤職員
内 容	① 業務の意義・目的の明確化と事業の意義・目的の明確化 ② 意義・目的に向かって大切にすること
講 師	人材育成室スタッフ

研 修 名	実践報告会
時期・会場	2月・浜田市
日 程	2日間
目 的	各施設の実践場面における課題及び課題解決への取組み・結果を共有し、職場の活性化や組織の強化を図る。
対 象	全職員